

シタバニハゴロモ

Lycorma delicatula (White)
カメムシ目 ビワハゴロモ科
分布：中国・台湾・ベトナム・インド

中国などアジア原産のビワハゴロモ科の昆虫で、日本のほか韓国・アメリカなどでも見つかっています。日本では2009年に石川県で記録されたのが最初で、岡山県では2019年に備前市で初確認され分布拡大中です。翅には水玉模様や細かい模様、そして名前のおり下翅には紅色があり飛ぶと目立ちます。食草はニワウルシ（シンジュ）など。植物を枯らしたり病気にさせる害虫として駆除されることもあります。



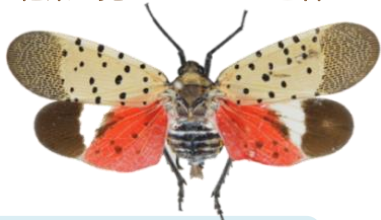
開張40 ~ 50mm



10mm

岡山県産では上翅が濃いグレーで下翅に水色模様がある個体が多い。他県のは上翅がクリーム色で下翅に白い模様がほとんど。

他県で見つかった色合い



雄雌のちがい

雌



雌の腹部先端の下部は赤い(矢印)

雄



よく見られる木ニワウルシ センダンなど



日本への侵入

- 2009年 石川県
- 2013年 福井県
- 2017年 大阪府
- 2019年 岡山県
- その後の把握箇所



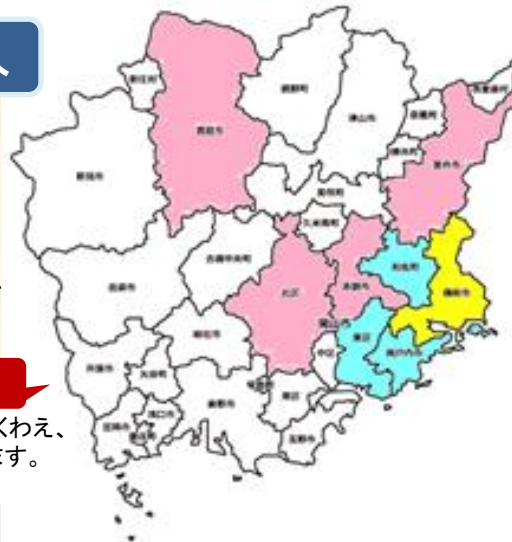
その後、年々拡大中
情報を拾っていない県も

岡山県への侵入

- 2019年 備前市
- 2020年 瀬戸内市・和気町 岡山市東区瀬戸町
- 2023年 美作市・赤磐市・真庭市 岡山市北区

ますます分布拡大中？

※分布図は、報告文・標本にくわえ、
確実な情報の私信を含みます。
(2024年3月現在)



岡山県での記録の参考文献

- 奥島雄一・水井颯麻, 2019. 岡山県におけるシタバニハゴロモの記録. 月刊むし (586) : 19-20.
橋本智明・山田 勝, 2020. 岡山県におけるシタバニハゴロモの追加記録. しぜんしくらしき (115) : 5.
伊藤國彦・黒田健二・那須 敏, 2021. シタバニハゴロモの観察記録と分布の追加. みちるべ (57) : 631-632.
中野晏志・大森 繁・黒木 出, 2024. 岡山県内でのシタバニハゴロモ確認と分布地の追加. みちるべ (60) : 696-697.